

令和2年 消防概況



丹波篠山市消防本部（署）

目 次

	ページ
1 火災の概要	
(1) 発 生 状 況	1
(2) 出 動 状 況	2
(3) 月 別 発 生 状 況	2
(4) 時 間 帯 別 発 生 状 況	3
(5) 出 火 原 因 状 況	3
2 救急の概要	
(1) 出 動 状 況	4
(2) 月 別 出 動 状 況	5
(3) 年 齢 別 搬 送 状 況	5
(4) 曜 日 別 出 動 状 況	6
(5) 傷 病 程 度 別 搬 送 状 況	6
(6) 応 急 処 置 の 状 況	7
(7) 医 療 機 関 別 搬 送 人 員 の 状 況	7
(8) 現 場 到 着 所 要 時 間 の 状 況	8
(9) 収 容 所 要 時 間 別 搬 送 人 員 の 状 況	8
(10) ドクターヘリ・ドクターカー要請及び搬送状況	8
3 救助の概要	
(1) 出動件数、活動件数及び救助人員の状況	9
(2) 事故種別ごとの活動状況	9
4 その他の概要	
そ の 他 出 動 の 状 況	10
5 出張所の概要	
出 張 所 出 動 状 況	10
6 通信の概要	
1 1 9 番 通 報 の 受 信 状 況	11

1 火災の概要

令和2年中の火災出動件数は21件で、前年より6件減少している。火災種別ごとの出動件数は「建物火災」が5件で、前年より3件減少、「林野火災」が4件で、前年より3件減少、「車両火災」が1件で、前年より1件減少、「その他の火災」が11件で、前年より1件増加している。

建物火災における焼損棟数は6棟で、前年より11棟減少、焼損面積は前年より減少している。

火災による死者はなく、前年より2人減少、負傷者は4人で、前年より1人減少している。

(注) 火災の概要にある火災の種別は、次のとおりに区分している。

建物火災・林野火災・車両火災・船舶火災・航空機火災・その他の火災

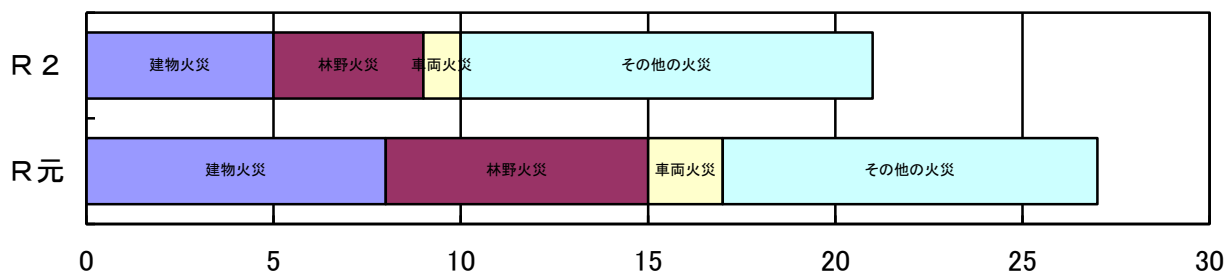
その他の火災とは、建物・林野・車両・船舶・航空機火災以外のものをいう。
丹波篠山市内では、船舶及び航空機火災は発生していないため省略

(1) 発生状況

区 分		令和2年	令和元年	比 較
出 火 件 数	建 物	5 (3)	8 (6)	△3 (△3)
	舞鶴道			
	林 野	4	7	△3
	舞鶴道			
	車 両	1	2	△1
	舞鶴道			
その他の	11	10	1	
舞鶴道	1		1	
総 件 数	21 (3)	27 (6)	△6 (△3)	
焼 損 棟 数	全 焼	2 (2)	4 (4)	△2 (△2)
	半 焼	0 (0)	3 (3)	△3 (△3)
	部 分 焼	2 (1)	3 (2)	△1 (△1)
	ぼ や	2 (1)	7 (6)	△5 (△5)
	総 数	6 (4)	17 (15)	△11 (△11)
焼 損 面 積	建物「㎡」	339(339)	740(739)	△401(△400)
	林野「a」	4	45	△41
り災世帯数「世帯」	5 (5)	7 (7)	△2 (△2)	
り災人員数「人」	13 (13)	15 (15)	△2 (△2)	
死 者 数「人」	0 (0)	2 (2)	△2 (△2)	
負 傷 者 数「人」	4 (2)	5 (2)	△1 (0)	

()内は住宅火災

(注) 焼損面積中の建物「㎡」は床面積のみを計上



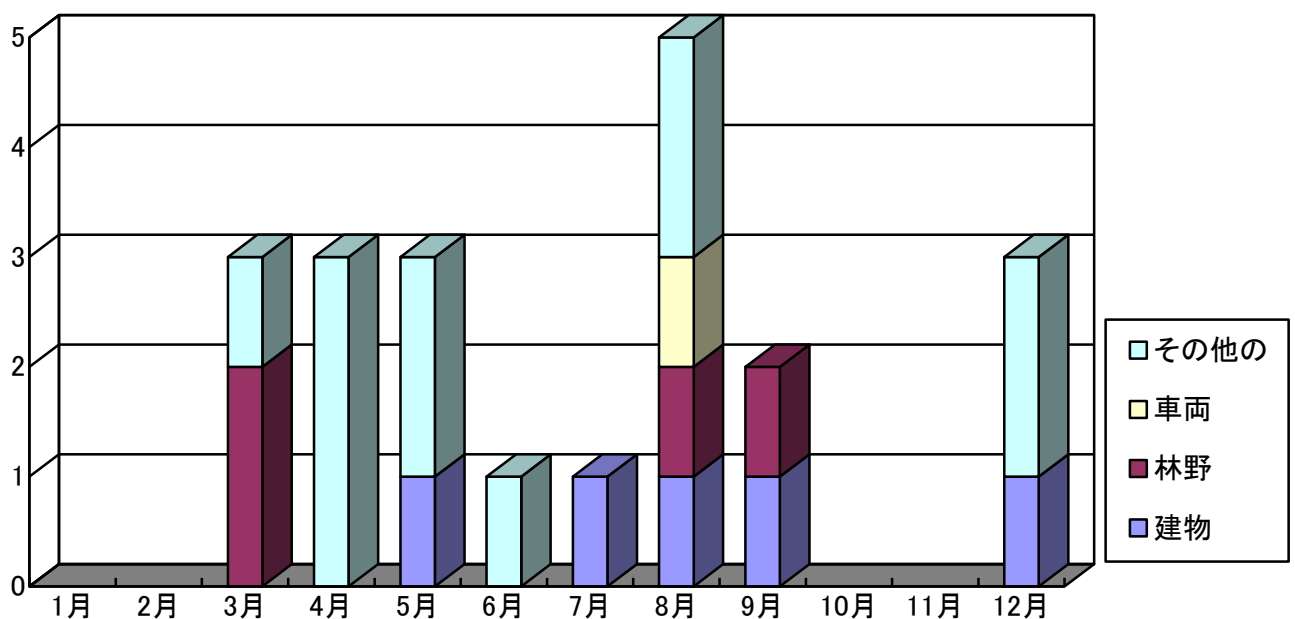
(2) 出動状況

区 分		建 物	林 野	車 両	その他の	合 計
出 動 件 数		5	4	1	11	21
出 動 人 員	消防署	47	38	7	86	178
	消防団	347	149	30	558	1,084
	総 数	394	187	37	644	1,262
1件あたりの出動人員		79	47	37	59	60
出 動 車 両	消防署	15	12	2	24	53
	消防団	50	29	2	72	153
	総 数	65	41	4	96	206
1件あたりの出動車両		13	10	4	9	10

(3) 月別発生状況

区 分	建 物	林 野	車 両	その他の	合 計
1月					
2月					
3月		2		1	3
4月				3	3
5月	1			2	3
6月				1	1
7月	1(1)				1(1)
8月	1(1)	1	1	2	5(1)
9月	1(1)	1			2(1)
10月					
11月					
12月	1			2	3
合 計	5(3)	4	1	11	21(3)

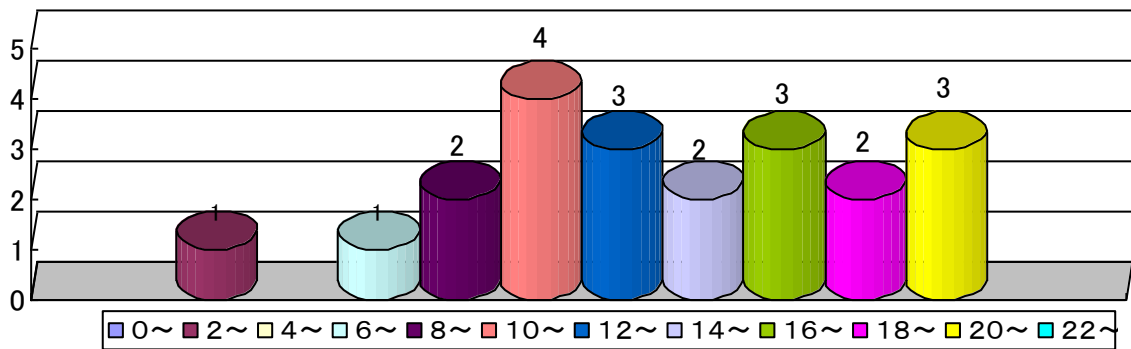
()内は住宅火災



(4) 時間帯別発生状況

区分 時間	建 物	林 野	車 両	その他の	総 数
0～					
2～	1				1
4～					
6～	1				1
8～	1(1)	1			2(1)
10～				4	4
12～				3	3
14～		2			2
16～	1(1)	1		1	3(1)
18～				2	2
20～	1(1)		1	1	3(1)
22～					
総 数	5(3)	4	1	11	21(3)

()内は住宅火災



(5) 出火原因状況

区 分	令 和 2 年					令 和 元 年				
	建物	林野	車両	その他の	合計	建物	林野	車両	その他の	合計
放火(疑い含む)						1(1)				1(1)
たばこ						1(1)		1		2(1)
たき火		3		7	10	1	6		6	13
電気機器	1(1)			1	2(1)					
配線器具						1(1)				1(1)
排気管								1		1
マッチ・ライター				1	1					
灯火	1				1					
衝突の火花	1				1					
こたつ	1(1)				1(1)					
その他		1	1	2	4	1	1			2
不明	1(1)				1(1)	3(3)			4	7(3)
合 計	5(3)	4	1	11	21(3)	8(6)	7	2	10	27(6)

()内は住宅火災

2 救急の概要

令和2年中の救急出動件数は1,990件で、前年より204件減少、搬送人員は1,899人で、前年より176人減少している。1日あたりの平均出動件数は5.4件であった。

事故種別ごとの出動件数は「急病」が1,133件で、前年より187件減少、「一般負傷」が356件で、前年より2件減少、「転院搬送」が268件で、前年より20件減少、「交通事故」が167件で、前年より19件増加している。

年齢別搬送人員は65歳以上が1,294人(68.1%)で、全搬送人員の半数以上を占めている。

(注) 救急の概要にある事故種別区分について、「(1)出動状況」は全ての事故種別を区分しているが、その他の表については主要な事故種別のみ掲示し、それ以外は「その他」として一括区分している。

(1) 出動状況

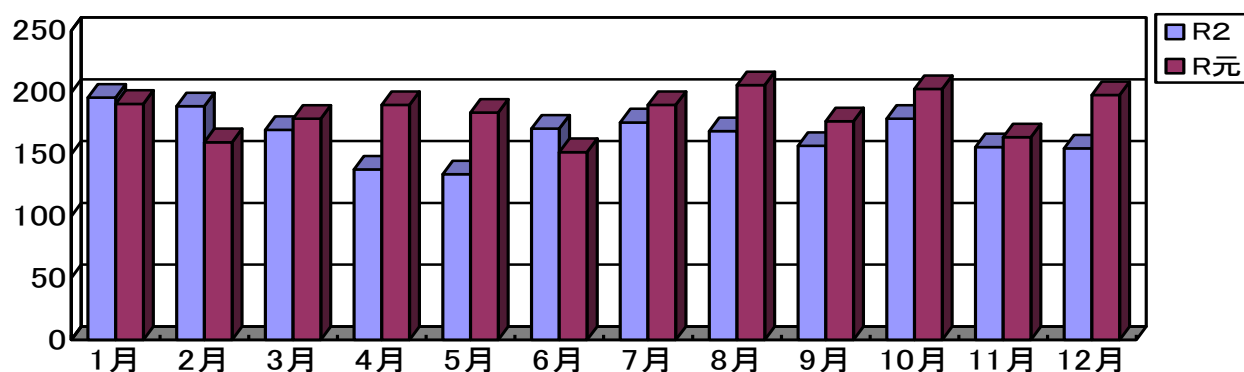
△は減少

区 分	令和2年		令和元年		比 較	
	件 数	搬送人員	件 数	搬送人員	件 数	搬送人員
火 災	2	3	5	4	△3	△1
自 然 災 害						
水 難	4		2		2	
交 通 事 故	167	161	148	147	19	14
労 働 災 害	28	33	23	22	5	11
運 動 競 技	4	4	16	16	△12	△12
一 般 負 傷	356	347	358	341	△2	6
加 害	4	3	4	4	0	△1
自 損 行 為	15	12	23	11	△8	1
急 病	1,133	1,067	1,320	1,242	△187	△175
転 院 搬 送	268	269	288	288	△20	△19
医 師 搬 送	1				1	
資 器 材 搬 送						
そ の 他	8		7		1	
合 計	1,990	1,899	2,194	2,075	△204	△176
舞鶴道	11	9	12	13	△1	△4
管 外	1	1	3	5	△2	△4

(2) 月別出動状況

△は減少

区 分	令和2年	令和元年	比 較
1月	196	191	5
2月	189	160	29
3月	170	179	△9
4月	138	190	△52
5月	134	184	△50
6月	171	152	19
7月	176	190	△14
8月	169	206	△37
9月	157	177	△20
10月	179	203	△24
11月	156	164	△8
12月	155	198	△43
合 計	1,990	2,194	△204



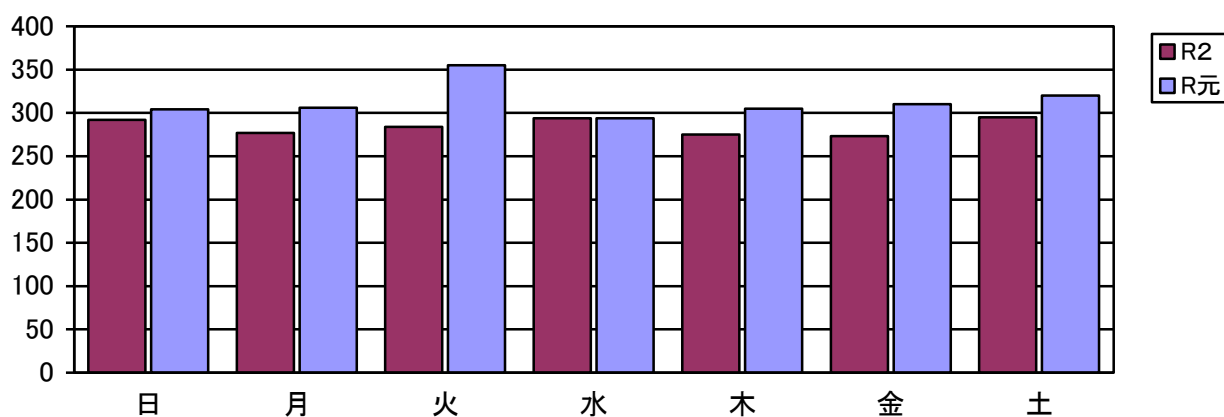
(3) 年齢別搬送状況

区 分	新生児 (28日以内)	乳幼児 (29日～6歳)	少年 (7歳～17歳)	成人 (18歳～64歳)	高齢者 (65歳以上)	合 計	
急 病	2年		29	31	249	758	1,067
	元年		81	29	316	816	1,242
交通事故	2年		3	16	94	48	161
	元年		5	12	86	44	147
一般負傷	2年		25	6	47	269	347
	元年		15	9	51	266	341
転院搬送	2年	2	3	2	57	205	269
	元年	4	1	2	61	220	288
その他	2年			2	39	14	55
	元年			13	33	11	57
合 計	2年	2	60	57	486	1,294	1,899
	元年	4	102	65	547	1,357	2,075

(4) 曜日別出動状況

△は減少

区分	令和2年						令和元年	比較
	急病	交通事故	一般負傷	転院搬送	その他	合計	合計	
日	165	22	67	25	13	292	304	△12
月	148	29	48	43	9	277	306	△29
火	155	28	48	42	11	284	355	△71
水	173	24	49	40	8	294	294	0
木	158	23	44	40	10	275	305	△30
金	155	16	52	41	9	273	310	△37
土	179	25	48	37	6	295	320	△25
合計	1,133	167	356	268	66	1,990	2,194	△204



(5) 傷病程度別搬送状況

区分	死亡	重症	中等症	軽症	合計
急病	30	118	519	400	1,067
交通事故	3	15	25	118	161
一般負傷	6	58	101	182	347
転院搬送	2	47	197	23	269
その他	4	4	20	27	55
合計	45	242	862	750	1,899
(比率:%)	(2.4)	(12.7)	(45.4)	(39.5)	(100)

(注) 死亡…初診時において、死亡が確認されたもの
 重症…傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの
 中等症…傷病の程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの
 軽症…傷病の程度が入院加療を必要としないもの

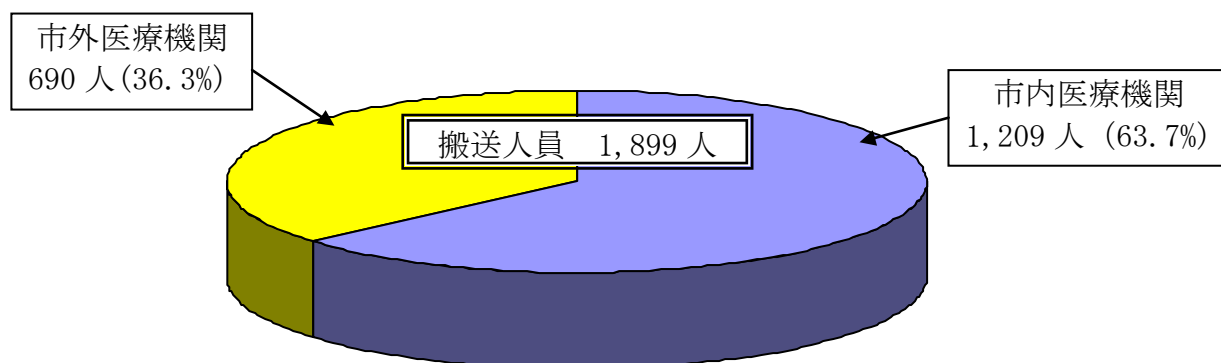
(6) 応急処置の状況

処置項目	対象人員	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
		1,067	161	347	324	1,899
止血		8	19	43	6	76
固定		35	63	137	17	252
人工呼吸		5			2	7
胸骨圧迫						
心肺蘇生		34	3	7	4	48
酸素吸入		236	24	26	89	375
気道確保		72	3	13	5	93
○ 用手・吸引		55	3	9	4	71
○ 経鼻エアウェイ		1				1
○ 喉頭鏡、鉗子等		2				2
○ 器具による気道確保		14		4	1	19
○ 気管挿管						
保温		77	22	17	10	126
被覆		10	42	81	16	149
在宅療法継続		15		4	2	21
血圧測定		1,009	156	323	315	1,803
心音・呼吸音聴取		182	50	28	20	280
血中酸素飽和度測定		1,035	158	339	319	1,851
心電図		803	77	119	206	1,205
○ 除細動		2				2
○ 血糖測定		29		1	1	31
○ 静脈路確保		10	1	2	1	14
○ 心肺停止		5		2		7
○ 心肺停止前		5	1		1	7
○ 薬剤投与		2				2
○ ブドウ糖投与		3			1	4
その他(体温測定、瞳孔観察等)		1,066	159	345	317	1,887
合計		4,633	777	1,485	1,331	8,226

(注1) 1人につき複数の応急処置を行うことがあるため、対象人員と事故種別ごとの処置項目の合計数とは一致しない。

(注2) 〇は、救急救命士が行うことのできる処置である。

(7) 医療機関別搬送人員の状況



(8) 現場到着所要時間の状況

現場到着時間	3分未満	3分～ 5分未満	5分～ 10分未満	10分～ 20分未満	20分以上	合 計
出動件数	11	30	888	887	174	1,990

(9) 収容所要時間別搬送人員の状況

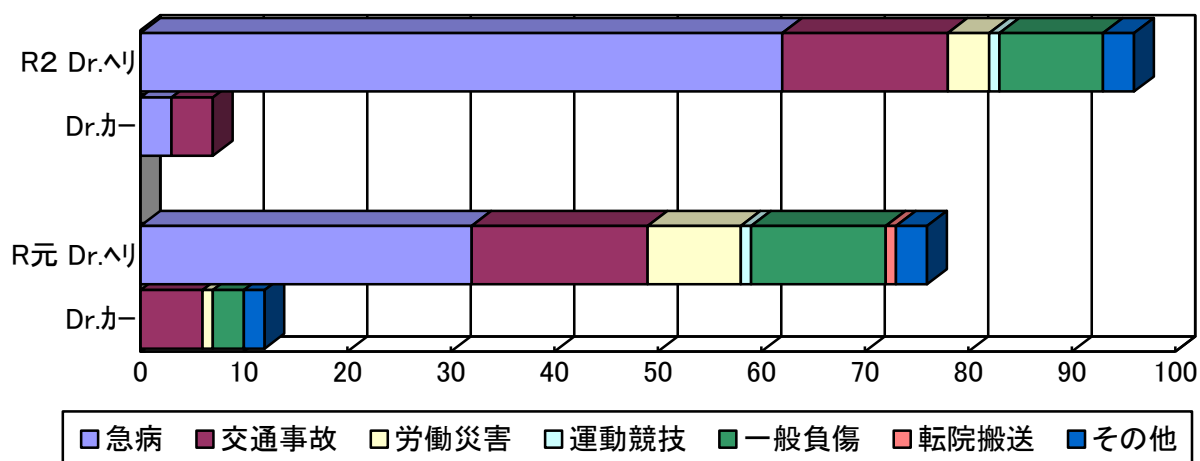
時間	10分未満	10分～ 20分未満	20分～ 30分未満	30分～ 60分未満	60分～ 120分未満	120分以上	合 計
搬送人員		24	312	1,211	339	13	1,899

(10) ドクターヘリ・ドクターカー要請及び搬送状況

「Dr.ヘリ」は、ドクターヘリ ・ 「Dr.カー」は、ドクターカー

区 分	令和2年				令和元年				比 較			
	要 請		搬 送		要 請		搬 送		要 請		搬 送	
	Dr.ヘリ	Dr.カー	Dr.ヘリ	Dr.カー	Dr.ヘリ	Dr.カー	Dr.ヘリ	Dr.カー	Dr.ヘリ	Dr.カー	Dr.ヘリ	Dr.カー
急 病	62	3	27	2	32		20		30	3	7	2
交通事故	16	4	9	4	17	6	12	3	△1	△2	△3	1
労働災害	4		2		9	1	7	1	△5	△1	△5	△1
運動競技	1				1		1		0		△1	
一般負傷	10		4		13	3	8	2	△3	△3	△4	△2
転院搬送					1		1		△1		△1	
そ の 他	3		2		3	2	3	1	0	△2	△1	△1
合 計	96	7	44	6	76	12	52	7	20	△5	△8	△1

ドクターヘリ・ドクターカー要請件数



3 救助の概要

令和2年中の救助出動件数は51件で、前年より10件増加、活動件数は35件で、前年より6件増加、救助人員は34人で、前年より5人増加している。

事故種別ごとの出動件数は「交通事故」が24件で、前年より9件増加、「その他の事故」が16件で、前年より3件増加、「建物事故」が6件で、前年より2件減少している。

事故種別ごとの活動件数は「交通事故」が16件で、前年より9件増加、「その他の事故」が11件で、前年より1件減少している。

事故種別ごとの救助人員は「交通事故」が17人で、前年より10人増加、「その他の事故」が11人で、前年より4人減少している。

(1) 出動件数、活動件数及び救助人員の状況

区 分		出動件数		活動件数		救助人員	
令和2年		51	1	35	1	34	1
	舞鶴道 管 外						
令和元年		41		29		29	
	舞鶴道 管 外						

(注) 「出動件数」とは、要救助者の有無に関わらず、救助する目的で出動した件数をいう。

「活動件数」とは、要救助者が存在し又は存在が予想され、救助のため実際に活動を行った件数をいう。

(2) 事故種別ごとの活動状況

区 分 事故種別	令 和 2 年			令 和 元 年			
	出動件数	活動件数	救助人員	出動件数	活動件数	救助人員	
火 災				1 (2.4)	1 (3.4)		
交 通 事 故	24(47.1)	16(45.7)	17	15(36.6)	7(24.1)	7	
水 難 事 故	3 (5.9)	3 (8.6)	2	2 (4.9)	1 (3.4)	1	
自 然 災 害 事 故							
機 械 事 故	1 (2.0)			1 (2.4)	1 (3.4)	1	
建 物 事 故	6(11.8)	4(11.4)	4	8(19.5)	6(20.7)	5	
ガ ス ・ 酸 欠 事 故	1 (2.0)	1 (2.9)		1 (2.4)	1 (3.4)		
破 裂 事 故							
そ の 他 の 事 故	16(31.4)	11(31.4)	11	13(31.7)	12(41.4)	15	
内 訳	山岳事故	5 (9.8)	4(11.4)	5	7(17.1)	7(24.1)	10
	低所事故	3 (5.9)	2 (5.7)	2	5(12.2)	5(17.2)	5
	高所事故	1 (2.0)					
	挟まれ等の事故	5 (9.8)	4(11.4)	4	1 (2.4)		
誤 報	2 (3.9)	1 (2.9)					
合 計	51 (100)	35 (100)	34	41 (100)	29 (100)	29	

()内は、構成比%

(注1) その他の事故の「誤報」とは、勘違い等で災害事象が存在しない場合をいう。

(注2) 合計欄の構成比は、四捨五入により各種別の構成比の合計と一致しない。

4 その他の概要

令和2年中の火災、救急及び救助以外の出動件数は124件で、前年より4件減少している。出動件数の大半は、「ヘリ支援」となっている。

その他出動の状況

種別 目的	火災不至	警 戒	誤報・虚報	市外応援	そ の 他	合 計
火 災 不 至						
油 漏 洩		7			1	8
ガ ス 漏 洩						
火 煙 発 生		3	1			4
焼 却 行 為		5				5
火災報知機の作動			5			5
救 急 支 援				1	11	12
へ り 支 援					87	87
そ の 他			1		2	3
合 計		15	7	1	101	124
舞鶴道		1	1	1	1	4
管 外			1	1		2
出 動 人 員		48	32	3	311	394

(注) 火 災 不 至…火災の定義に該当するが、規模、被害等が極めて軽微な現場での活動
 油 漏 洩…事故車両等からの油漏洩の処理活動
 ガ ス 漏 洩…ガス漏洩現場での活動
 火 煙 発 生…火煙発生の通報による現場活動
 焼 却 行 為…焼却現場での活動
 火災報知機の作動…火災報知機の作動に伴う活動
 救 急 支 援…救急現場での支援活動
 へ り 支 援…消防防災ヘリ及びドクターヘリ要請に伴う支援活動
 そ の 他…上記のいずれにもあてはまらない活動

5 出張所の概要

令和2年中の出張所の出動件数は419件で、前年より38件減少している。災害種別ごとの出動件数は「救急」が412件で、前年より35件減少、「火災」が3件で、前年より2件減少、「その他」が4件で、前年より1件減少している。

出張所出動状況

区 分	救 急		火 災		そ の 他	
	令和2年	令和元年	令和2年	令和元年	令和2年	令和元年
東出張所	127	136	1	1	2	1
西出張所	194	205	1	2	2	2
南出張所	91	106	1	2		2
合 計	412	447	3	5	4	5

6 通信の概要

令和2年中の119番通報受信件数は2,597件で、前年より423件減少している。受信内容は「火災」、「救急」、「救助」等の災害緊急通報が1,711件で、前年より230件減少している。また、「まちがい」、「いたずら」、「災害に対する問い合わせ」等の不適切な通報が190件で、前年より19件減少している。

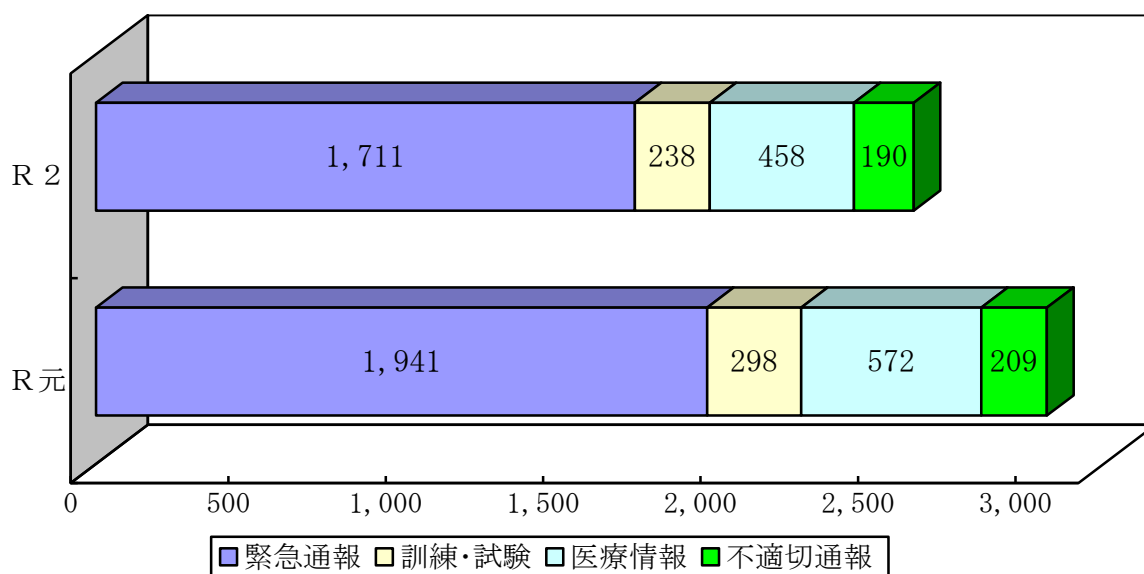
119番通報の受信状況

種別	総数	火災	救急	救助・警戒等	訓練・試験	医療情報 問い合わせ	まちがい	いたずら 無言	問い合わせ			その他
									火災	救急	救助警戒等	
令和2年	2,597	28	1,570 [1]	113	238 (20)	458	82	12	3	4	0	89
構成比	100%	1.1	60.5	4.4	9.2	17.6	3.2	0.5	0.1	0.2	0	3.4
令和元年	3,020	57	1,767	117	298 (16)	572	59	10	3	4	1	132
構成比	100%	1.9	58.5	3.9	9.9	18.9	2.0	0.3	0.1	0.1	0.0	4.4

[]内はNET119による通報

()内はFAX119による通報

(注) 総数欄の構成比は、四捨五入により各種別の構成比の合計と一致しない。



令和2年度全国統一防火標語

その火事を
防ぐあなたに
金メダル

